

令和2年度児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年2月15日

事業所名：学びの広場じゃんぱ

保護者等数2 回収数2

割合 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	50%	0%	0%	50%	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	50%	0%	0%	50%	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50%	0%	0%	50%	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	50%	0%	0%	50%	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で児童発達支援計画 ₂ が作成されている	50%	50%	0%	0%	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	50%	0%	0%	50%	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	50%	0%	0%	50%	
	8 活動プログラム ₃ が固定化しないよう工夫されている	50%	0%	0%	50%	
保護者 への 説明等	9 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がされている	100%	0%	0%	0%	
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされている	50%	50%	0%	0%	
	11 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ₄ 等)が行われている	50%	0%	0%	50%	
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	50%	0%	0%	50%	
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	50%	0%	0%	50%	
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0%	0%	100%	0%	
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	50%	50%	0%	0%	
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	50%	0%	0%	50%	
	17 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	0%	50%	50%	0%	
18 個人情報保護に十分注意している	50%	0%	0%	50%		

非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されている	50%	0%	50%	0%	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0%	0%	50%	50%	
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしている	50%	50%	0%	0%	
	22	事業所の支援に満足している	50%	50%	0%	0%	

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和3年2月15日

事業所名：学びの広場じゃんぷ

保護者等数 2 回収 2 割合 100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	100%	0%	0%	0%	
	3 事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー配慮がなされている	100%	0%	0%	0%	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%	
	5 <u>活動プログラム*</u> が固定化しないよう工夫されている	50%	50%	0%	0%	
	6 障害のない子どもと活動する機会を設けている	0%	50%	0%	50%	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がされている	100%	0%	0%	0%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	100%	0%	0%	0%	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%	
	10 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	50%	50%	0%	0%	
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%	
	12 定期的に会報やホームページ等で、活動や業務の情報を子どもや保護者に発信している	0%	50%	0%	50%	
	13 個人情報保護に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	
非常時 等の 対応	14 緊急時等の対応マニュアルを保護者に周知・説明している	100%	0%	0%	0%	
	15 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	0%	50%	0%	50%	
満足度	16 子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	
	17 事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和2年度児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表：令和3年2月15日

回収数：正規3

割合100%

事業所名：学びの広場じゃんぱ

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	66%	33%		児童発達支援にも放課後デイサービスにも適用できるような空間作りを心掛けている。	利用定員に達していない。また、個室空間がなく、活動・目的により不便。
	2 職員の配置数は適切である	33%	66%			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%			設置基準に準じている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	33%	33%	33%	所内業務マニュアルについて、職員会議の内容を踏まえながら更新している。	
	5 アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			開設後半年であるが、今回実施した。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	66%	33%		法人のHPにて公開	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	33%	33%		
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			月1回、法人二事業所合同のリモート会議の中で、実践報告を行っている。	
	9 子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、個別支援計画を作成している	100%			個別アセスメントを実施し、指導方針や計画立案を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	33%	33%	33%	支援のアセスメントツールや児童発達支援のアセスメントを利用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	66%	33%		事業所内だけでなく、法人内でも意見やアドバイスを交換しながら行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			プログラムは個別的に設定している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		66%	33%		休日の営業をしていない。
	14 子どもに応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	66%	33%			まだ利用者が少なく集団形成ができないが、今後は積極的に行っていきたい。
	15 職員間でその日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			毎朝朝礼を実施し、その日の支援内容や役割分担について確認している。	
	16 職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	66%	33%		日々の意見交換の中で行っている。	少人数のため、日々の話題の中で共有されているが、今後は振り返りの機会を積極的に設けていきたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			支援記録はその日のうちに記入するよう心掛けている。	
18 定期的に事後評価を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			概ね半年で振り返りの面談を設定する予定である。		
19 療育・創作・交流・余暇支援の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	100%			学習支援中心の利用者に対しても、利用者間で交流したり療育的な取り組みを行ったりするプログラムを組み込んでいる。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に最もふさわしい者が参加している	100%			基本的には管理者(心理・保育・教育有資格者)が出席している。		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	33%	66%		学校との情報共有は保護者を通じて行っているが、保護者の了承があれば直接連携も取っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23 就学前に利用していた事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	33%	33%		まだそのような利用者がいない。
	24 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、情報を提供している	33%	33%	33%		まだそのような利用者がいない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関の助言や研修を受けている	33%		66%	職員の中には各センター勤務経験者が含まれるが、事業所として助言や研修は受けていない。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない地域の子どもの活動する機会がある		33%	66%		支援の個別性が高く、必要性が低い
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している					
	28 日常的に保護者と子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っている	100%			児発は保護者同席の療育形態であるため、話す機会は多い。放デイは保護者送迎の際、説明していることが多い。	
	29 子育て支援として、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	66%		33%	ペアレント・トレーニングのインストラクター講習を修了している職員が配置されている。	該当利用者が増えてこれば検討したい。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			契約時に必ず行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			日々の利用や保護者送迎の機会に行っている。また半年に一度保護者面談を行っている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応している	66%	33%			利用日に利用者が増えないこと等の不満が聞かれたが、今後の利用状況で改善していきたい。
	34 定期的に会報等を発行し、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%			SNSの公式アカウントを利用し周知体制を作っている。	
	35 個人情報に十分注意している	100%			個人情報に関するものについては、鍵付きの棚で保管し、外部への持ち出し規定を作っている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	66%	33%			該当するような利用がまだないが、今後検討していきたい。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	33%	33%		開設したばかりでまだ検討できていない。
非常時等の対応	38 緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			マニュアルはそれぞれ設置しており、いつでも閲覧できる状態にしている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	66%	33%		3月に初回の避難訓練を実施予定である。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	66%	33%		地域で開催される虐待研修に参加している。	
	41 身体拘束について、保護者に事前に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載している	66%		33%		そのような事例がない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	66%	33%		食物アレルギーについては個別に保護者から聞き取りを行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	33%	33%	33%		まだ事例がない。

令和2年度自己評価と保護者評価について 第3者意見

評価日 : 令和3年2月15日

第3者評価者名 : 山川 秀一

事業所名 : 学びの広場じゃんぷ

区分	評価	助言
環境・体制整備	限られた環境の中でも、様々な支援に対応できるスペースを工夫していると思います。保護者に様子を知らせることも意識した設備もいいと思います。	個別と集団指導の良さを工夫しやすい環境になっています。子どもたちが聞きやすい、安心する場になることが大事な要素だと思います。集団との橋渡しができる空間になることを期待しています。
適切な支援の提供	これからの学習支援は様々な客観的な見立てに基づく計画が必要になってきます。支援者が常に必要な情報を集めて活用しようとしている姿勢が見られます。	子どもたちのそれぞれの発達や時期によって、課題が変化していきます。それに合わせて支援や活動の計画を探る必要があります。家庭や学校との連携をとれる体制がうまく機能できることを期待しています。
保護者への説明等	子どもたちの支援のニーズは幅広くなっていて、少ない時間での支援の中ですぐに成果は出にくい状況があります。何が支援のポイントになるかを常に見出そうとする姿勢が見られるところが良いです。	学習支援は家庭との連携が取れることが有効に働きます。子どもたちの小さな変化を共有できて、話し合える場になることを期待しています。
その他		